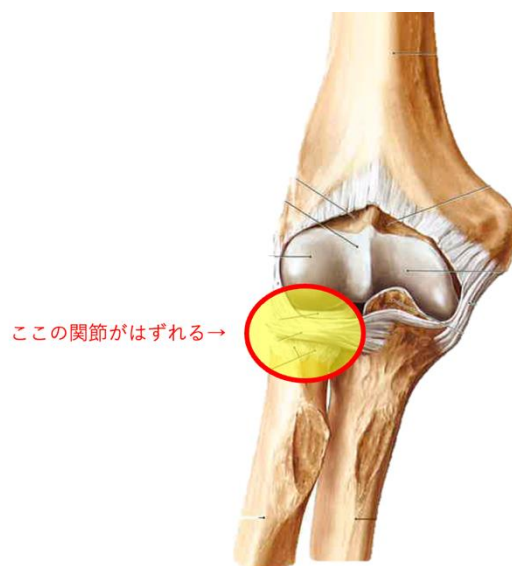


肘内障

肘内障とは

大人の場合、手を回す動作に重要な役割を果たす肘関節（外側）の近くには、輪状靭帯と呼ばれるバンドの役割を持った靭帯があります。少々前腕を引っ張っても、輪状靭帯が橈骨頭からずれてしまうことはまずありませんが小児の橈骨頭の形状は軟骨成分が多く、輪状靭帯も緩く弱いので、前腕を引っ張った状態になると、輪状靭帯が亜脱臼してしまい、肘の運動を妨げてしまいます。これが「肘内障」です。



好発年齢は？

1歳から6歳に多いと言われていまう。まだ会話も上手くできない年頃の子に起きますので、大人達が彼らの訴える痛みを上手く汲み取ってあげることが非常に大切になります。

治療はどうやってやるの？

徒手整復法で直します。整復後、元気に手を使っているかを確認して治療は終了です。通院は基本必要なく、再発のリスクを親御さんに説明いたします。



接骨院内は小さな子供も怖がらずに治療できるよ
うな環境づくりをしております。小さな子供のお
怪我もしっかり治療いたしますのでご相談くださ
い